

議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 4 回玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会
開 催 日 時	平成 2 9 年 1 1 月 2 7 日 (月) 1 9 時 0 0 分 ~
開 催 場 所	玉里保健センター 1 階 集団検診室
出 席 者	<p>【出席委員】 戸田 大我 大平 勇一 原田 和雄 竹田 武美 伊藤 岳快 鈴木 秀和 梶原 恵美 小川 和美 額賀 博 長谷川美智子 田中 周 白井 律子 塚本 繁雄 圓尾 康子 高野 郁 田山 恵子 羽鳥 文雄 稲田 雅志 鶴町 文男 長谷川忠徳 田上 義明 亀井 優 藤田 泰正 室町 弥 大槻 良明 大山 徳 荒井 敦 相澤 博文 青木 寿美</p> <p>【欠席委員】 小山田香代 久保田浩一 夏井 義一 戸田 見良 園部 文夫 大島 利則 大和田智弘 戸田 見成 長谷川倫彦 小沼 卓実</p> <p>【事務局】 長津 智之 中村 均 吉永 成範 植田 薫 外之内信浩 内田 真基 戸塚 聡 田村 直弥</p> <p>【その他】 (青山建築設計事務所) 飯島 賢二 小松由樹子</p>
内 容	・全体配置計画 (案) について、平面計画 (案) について、 施設整備方針 (案) について
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、他)
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0人)

【協 議】

- (1) 全体配置計画（案）について
平面計画（案）について
施設整備方針（案）について

委員長 本日は、校舎の平面図についての検討が中心となる。まず、全体配置計画に若干の変更があるので、事務局から説明いただく。また、平面計画、施設設備方針についても説明いただき、委員から意見等をいただきたい。それらの後、グループ協議へと移っていきたい。

資料1、2については事務局より、資料3については青山建築設計事務所より説明いただきたいと思う。

資料1、2に基づき、事務局より説明

事務局 まず、資料2の平面図をご覧いただきたい。平面図に関しては、玉里地区の各小中学校教職員を対象に「どの教室をどの位置に配置するか」といった内容のアンケートを実施し、それを基に先生たちと3回の協議を行って作成した。その協議では、「学年区分の前期（1年生から4年生）、中期（5年生から7年生）、後期（8年生から9年生）を各階で分け、明確化してほしい」、「特別支援教室は静かな落ち着いた場所が良い」、「給食は外部空間を通さない方が良い」、「廊下の端から端まで見渡せた方が良い」といったこと等が意見として挙げられた。それらを反映させたものが資料2となっている。また、それに伴い、配置図も変更している。

資料1の配置図をご覧いただきたい。まず、端から端まで見渡せることができる視認性を確保するため、校舎を直線にした。以前の案にあった普通教室棟に合わせて特別教室エリアと管理エリアを直線に変更し、さらに採光を考慮して少し南向きに校舎をふっている。次に、給食が外部空間を通らないよう、1階の外部に直接通じていたポーチを建物の中に組込んだ。これにより、中学部が利用すると想定される駐輪場から校舎正面にある昇降口までの動線が長くなったが、道路側の2階、駐輪場と近い場所に昇降口を確保することにより、これを解消できると考えた。また、校舎の高さを既存校舎レベルからグラウンドレベルに変更している。これにより、校舎とグラウンドの間にあった段差が校舎裏に移動した。

続いて、追加資料1-2の立面図をご覧いただきたい。上図の青線が示すとおり、小学部の児童は、新正門から同じ高さで昇降口に向かうことができる。また、下図のように、体育館への渡り廊下が校舎2階から繋がっている。中学部の動線は、下図の青線が示すとおり、駐輪場から階段を上り、2階の昇降口へ行くようになっている。グラウンドへの動線は、緑線で示すとおり、階段を下りていくようになっている。小学部については、昇降口から出て、

そのままグラウンドへ出ることができる。また、校舎の高さが1段下がったことにより、校舎裏への日当たりが以前より良くなっている。
最後に、平面図との兼ね合いはないが、遊具エリアをサブグラウンドに配置した。それにより、高学年と低学年のエリアを区別し、より安全性を確保した。

資料3に基づき、青山建築設計事務所より説明

青山建築 続いて、平面計画、配置計画に基本構想で示した施設整備方針がどのように反映されているのか説明したい。資料3、灰色の四角で囲われている部分が基本構想で示した文言となっている。四角の下にある赤、青、緑の三角印から始まる文言は、今回の計画について示している。全体テーマである「豊かな自然環境の中で真剣な瞳と輝く笑顔があふれる学び舎」を実現できるよう、施設整備方針を基に計画を行っている。

まず、「施設整備方針① 一貫した教育活動と多様な展開を実現する学校」、「① 9年間の連続した学びに適した効果的な施設整備」について説明したい。平面計画において説明があったとおり、今回の案では学年段階の区切りに応じた普通教室配置とすることにより、小中一貫校としての特性を活かした学習展開ができる計画としている。

普通教室エリア内の北側階段は、イメージ①のように、全ての階を横断する直階段となっており、日常的に同じ階以外の活動も感じることができるとともに、異学年の動線が交差するため、交流を図ることができる空間となっている。

次に、「② ゆとりのある教室の整備」については、十分な収納量を確保した普通教室を計画している。長辺方向に壁面ロッカーを整備した奥行のある普通教室とした。ロッカーイメージのように、荷物が多い小学部は幅の広いロッカー、中学部は標準的な大きさで数が多いロッカーとし、利用に応じた仕様となっている。

次に、「③ 主体的に学ぶための学習空間づくり」と「④ 情報化・国際化に対応する教育活動を展望した施設環境の整備」を合わせて説明したい。今回の計画では、普通教室エリアの各階にイメージ②のような図書コーナーを設置した。日常的に本と触れ合い、児童生徒が自発的に学ぶことができるように計画している。図書コーナーの一角に畳スペースを設け、郷土文化と触れ合える空間とする。また、図①の「学年段階区分に応じた環境」のように、1階の前期段階では、図書コーナーと多目的スペースの一体利用により、低学年から読書や個別学習を行えるようにする。2階の中期段階では、図書コーナーや直階段の中間点があり、様々な学年と交流ができる。3階の後期段階では、図書コーナーとともに少人数学習教室を配置することにより、個に応じた学習に対応できる空間構成になっている。また、図書メディアセンター

は、児童生徒が日常的に本や教材と触れ合えるように1階へ配置し、調べ学習等の際にPC室と効果的な連携が図れる配置構成となっている。また、階段下の吹抜空間にもスペースが広がり、そこで読書や学習を行う等、多様な学習に対応できる計画としている。

「⑤地域とともに育む学校」については、地域の方々と世代間交流を図ることができるよう、高齢者から子どもまでが利用できるユニバーサルデザインに配慮した施設計画としている。

続いて、「施設整備方針②明るく笑顔のたえない楽しい学校」について説明したい。

「①様々な交流を創出する施設」については、様々な交流を促すよう、普通教室エリア内の直階段における個人やグループ間の交流とともに、各階の多目的室や1階エントランスホール、小体育館等の広い多目的空間を利用したクラスや学年間の交流も図れる施設計画となっている。

「②安全で人に優しく使いやすい施設」については、3m程度のゆとりのある廊下や多目的トイレを設置している。トイレ器具の体格に応じた仕様の採用など、全ての利用者に配慮した施設計画としている。

「施設整備方針③玉里地区の豊かな自然環境と共存する学校」としては、内部空間の木質化や吹抜け、ハイサイドによる自然採光を取り入れた施設計画により、快適な学習環境を整えるものとしている。

「施設整備方針④安全性に配慮した安心できる学校」としては、鉄筋コンクリート構造とし、耐震安全性能を確保した安心・安全な施設としている。また、I型校舎により、校内の視認性や防犯性に配慮した施設環境を整えるものとしている。

なお、施設整備方針の末尾には、現段階での完成イメージを記載した。また、基本構想において示した「今後の検討課題」については、学年段階区分に応じた普通教室の構成など、施設整備方針の反映内容とともに、適正な階高設定などを行うことにより、課題の解決を図っている。なお、「課題5. 地域特性を活かした教育環境」については、教育内容などのソフトの面が大きく関わってくることから、来年度内を目処に内容を協議し、計画検討を行いたいと思っている。

委員長 説明に対する質問があれば、お願いしたい。

委員 資料3のP1に教室の間取図がある。現在、中学生も机を2つ並べる形になっているのだろうか。そこへもう2つの机をつけると、スペースが広がる。この間取図における教室と机の縮尺は合っているのではないかと思う。

青山建築 合っている。

委員 そうすると、すごく狭い気がする。例えば、PTA参観の際、教室の一番後ろに保護者が並べるだろうか。この図を見た時、狭いと思ったが、どうなのだろうか。

委員 40人学級の想定として表記されていると思うが、これから先の児童生徒数

を見ていくと、1学級40人にはならないと思う。また、これからの授業スタイルとして、一斉に前を向いて授業するというスタイルがほとんど無くなっていくのではないかと思う。

委員 私も色々なレイアウトを試したが、この学校スタイルというものが一番面積効率が良い。これをグループに分けていくと、面積効率が悪くなっていく。そういったことを考えると、少し狭いのではないかと私は思ったが、他の委員が大丈夫だと言ってくれば、結構。

委員 この図ではなかなかイメージが湧かないので、今の教室のサイズと比べてどうかというように聞いた方が分かりやすいと思う。

委員 今のサイズはどのくらいだろうか。この図では、一人あたりが1.57㎡になっている。

青山建築 現在の玉里中学校の教室は、7.2m×8.5mとなっている。現在の計画と比較すると、計画の方が3㎡ほど大きくなっている。

委員 将来の児童生徒数がどうなるか分からないと言っているが、将来は何人を目指しているのか。30人であれば、私はこれで良いと思う。40人であれば、少し狭いのではないか。

委員 私は中学生の時に40人のクラスだったが、それほど狭いという感じはしなかった。

委員長 玉里中の委員。現在の図では目一杯広がっている形になっているが、実際はここまで広がらず、多少はスペースが取れる形かと思うが、いかがか。

委員 そのように思う。

委員長 玉里小ではいかがか。

委員 玉里中より計画の方が広がっている。現在は法律により40人学級だが、以前は45人学級としていたと思う。それを行ってこれたので、大丈夫ではないかと思う。また、机の大きさの関係もある。習字を行う際に手本が置けるような大きいサイズの机が出てきているので、そういった机を買った場合は変わるかもしれない。

委員 本校では昨年度、6年生が約40人のクラスだった。今の教室に小学校6年生が40人いると、息苦しいくらいだった。それより少し広いということだったが、40人ということを考えると、教室はもう少し余裕があっても良いと思う。ただ、今の子供たちの数だと、30人前後くらいになってきている。今の本校では、3年生が40人くらいとなっている。6年生になって40人クラスとなると、教室に圧迫感があるということを感じた。

委員長 小学校の教室の広さは分かるだろうか。

委員 玉里中学校と同じになっている。

青山建築 玉里地区の小中学校は全校、同じ教室の広さとなっている。

委員 ゆとりのある廊下にするということだったが、どのくらいの幅だったか。

青山建築 3mが有効となる幅になっている。

委員 廊下はあまり広くない方が良いと思う。低学年はそこでお遊戯をやってしま

う。聞いた話だが、玉造小学校は廊下が広く、低学年がそこでお遊戯をやっ
てしまうということだった。なので、廊下はスペースをあまり取らない方が
良い。その分、教室を広くしたらどうか。

委員長 学校としては、いかがか。

委 員 先ほど説明があったように、廊下に図書コーナーを充実させていただいて
いるということを考えると、廊下がただの通路ではないイメージかと思ってい
る。通路として考えた場合においても、東日本大震災を乗り越えてきた私た
ちとしては、広い方が安全面にも配慮できるのではないかというところがあ
る。廊下がただの通路ではないイメージを私自身は持っているので、3 mと
いうゆとりがあって良いのではないかという考えを持っている。

委員長 では、そういった意見も含め、各グループで話し合ってもらえると良いと思
う。その他にいかがか。

委 員 資料1の図面では方角が書かれていない。どのようになっているだろうか。

青山建築 記載が漏れてしまい、申し訳ない。グループ協議で使用する拡大した図面
には記載しているので、確認していただきたい。

委員長 グループ協議には、事務局も入るので、そこで質問や説明を受けるなどして
いただきたい。

委 員 今回提示されている校舎の位置だが、前回までのものと変わっていると思
う。いつの段階でこのようになったのか。

事務局 先ほども説明したとおり、平面計画を学校の先生たちと協議した。その平面
計画案が決まった段階で配置が若干変更となった。今回、初めて配置におけ
る向きが変わった。

委 員 高さについてはどうなのか。

事務局 高さについても、初めて提示させていただいた。

委 員 今までの話し合いの中ではなく、先生と事務局の話し合いで決まったという
ことか。

事務局 そのようになっている。

委員長 色々と気づいた点や疑問点があると思う。それをグループ協議の場を出して
いただきたいと思う。各グループに事務局、教員がいるので、質問等も含め、
話し合っていたいただきたいと思う。その後、グループで出た意見を発表してい
ただく。

－ グ ル ー プ 協 議 －

委員長 グループ協議で出た意見等を共有したいと思う。まず、玉里小学校区にお願
いしたい。

委 員 全体配置計画の意見としては、「職員室が2階にあるが、1階、3階には目
が届かないのではないか」という意見が出た。それに対し、「1階、3階に
は図書コーナーがあり、そこに教員がいるので、目が届かないことはないだ

ろう」ということがあった。

また、同じように「サブグラウンドが裏手にあるが、教師の目が届かないのではないか」ということがあった。それに対し、「職員が休み時間にサブグラウンドへ出るといったことをすれば、目が届くのではないか」というような話があった。

また、「特別支援教室が1階にあるが、今の学校の状況を考えると、個別に支援したり、指導したりする部屋が必要なのではないか、そういう部屋はあるか」ということがあった。それに対し、「多目的スペースや会議室、少人数教室等が活用できるのではないか」という意見があった。

また、施設整備方針について、「教室は広いに越したことはないので、そこは検討してほしい」という意見があった。

それから、イメージとして載っているが、「この階段のイメージは、女子にとってはどうか」といった意見があったので、配慮をしていただきたいと思う。よろしくお願ひしたい。

委員長 次に玉里北小学校区、お願ひしたい。

委員 色々と意見が出たが、最終的に1つの方向性としてまとまらなかったの
で、出た意見を紹介させていただく。

まずは、中学生では武道・ダンスが必修ということを考え、武道館がないということはどうなのだろうかということがあった。そこで、3階部分に設置するのが良いのではないかとあった。剣道は防具等でお金がかかるため、柔道を実施している学校が多くなっており、クッション性のある畳に代わるものを敷いておけば、柔道をやらない時でも使用できるのではないかと、武道に対応する場所を確保してほしい、小体育館で武道に対応できるようにしてほしいという意見があった。

また、自ら学べる場として、学習室があると良いという意見が出た。ただ、中学生のほとんどは部活動に加入し、小学生は残るといふより、一斉に下校する。なので、図書室や多目的室、少人数学習教室の利用を考えていくとどうかという意見になっている。

それから、パソコンについての意見があった。1階に部屋が取られているが、普通教室でも使えるのではないかと意見が出された。これに対しては、現在、LANを引き、普通教室でも使えるようになっているという意見でまとまっていた。

日当たりがどうかということに対しては、校舎が下がったので、大分改善されているという意見が出た。

それから、サブグラウンドについて先ほども出たが、職員室から見えなくなっており、職員の目が必要ではないかということがあった。安全面も考え、どの学校においても業間休みや昼休みに職員が外へ出て、見守りなどをやっていると思うので、それを続けていくと良いのではないかとあった。

グラウンドに関しては、水はけの良いグラウンドにしてほしいということがあった。雨が降っても、30分くらいしたら乾くような整備ができれば良いということがあった。

また、良い面としては、トイレが車椅子でも利用できるというような配慮がされているという意見が出た。

最後になるが、職員玄関と給食室が隣に位置している。それについては大丈夫なのだろうかという意見があった。給食室は、車が入れるスペースとしては大丈夫だが、もう少し広がれば良いのではないかとあった。職員玄関に関しては、子供たちが体育館に移動する時に前を通るので、来客と必ず会ってしまう。使い勝手としてはどうなのかということがあった。小体育館を2m程度ずらすと改善されるのではないかといいところまで話が出た時に終了時間となってしまった。

委員長 続いて、玉里東小学校区にお願いしたい。

委員 まず、昇降口が話題に出た。昇降口に関しては、小学部と中学部で分かれており、良いのではないかといいこと、中学校は階段を上って中に入ることなので、雨天時でも滑らないような素材で造ると良いのではないかといい意見が出た。

続いて、サブグラウンドが話題にあがった。2階の職員室から死角になっているので、カメラの設置や他の学校区からも出たように、業間休み等は必ず教員が外へ出て一緒に遊んだり、遊具を安全に使用できているかどうかを見るように対応すれば大丈夫だろうという話が出た。

また、特別支援教室の話題も出た。以前の計画のものより、静かな環境で配置されているので、こちらの方が良いのではないかといいことだった。特に1階は、相談室や保健室が近いので、よく対応ができるのではないかといいことだった。

続いて、トイレについてだが、トイレは全て洋式ということを確認した。また、多目的トイレがあり、怪我等をした児童生徒にもきちんと対応ができるということを知った。このまま計画を進めていただきたいとまとまった。教室の広さについては、廊下側の壁の取り方などを工夫すると、廊下側から教室を参観できるようになるのではないかといい意見が出た。

委員長 委員それぞれの思いや考えを色々とお出しいただいた。グループ協議の中で改善するところや検討するところを出していただいたが、事務局として改善できるものについては、改善していただきたいと思う。限られたスペースの中で有効な教育活動を行うということになるため、全て要望に応えることはできないと思うが、今後の検討をよろしくお願いしたい。

○次回の建設準備委員会予定

日程：1月下旬ごろ

内容：スケジュール
建替計画